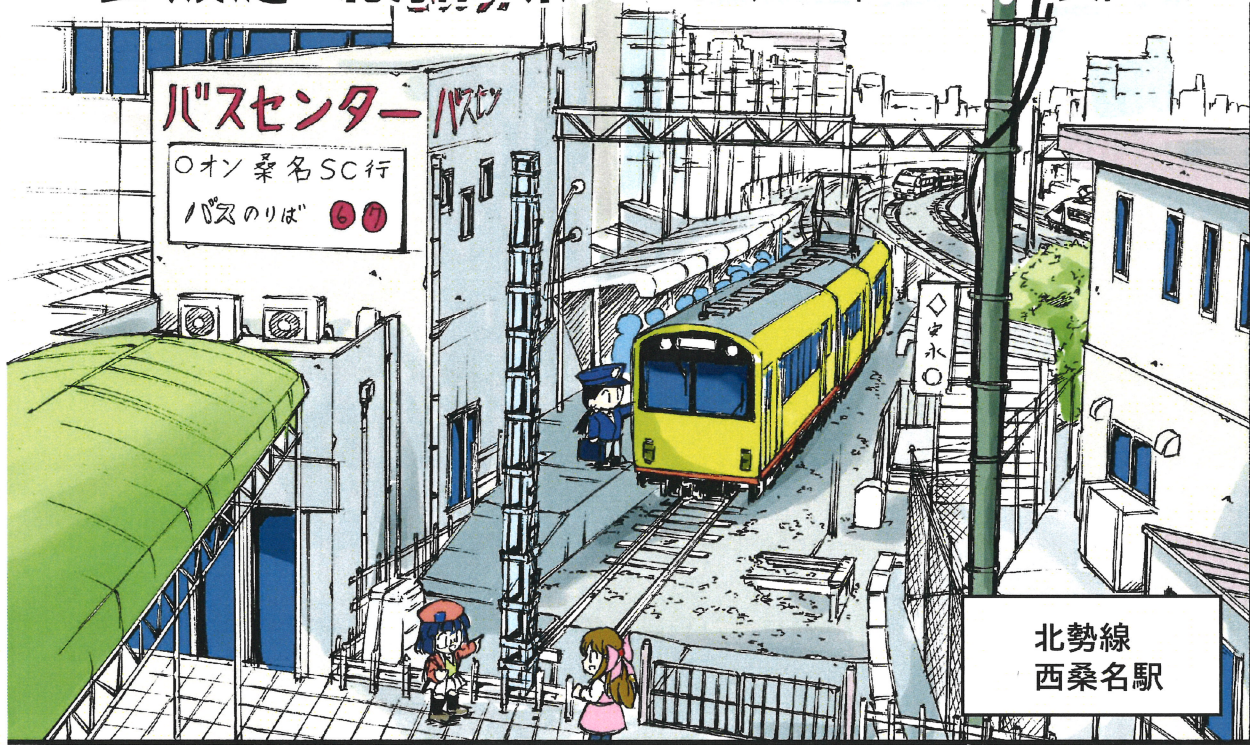
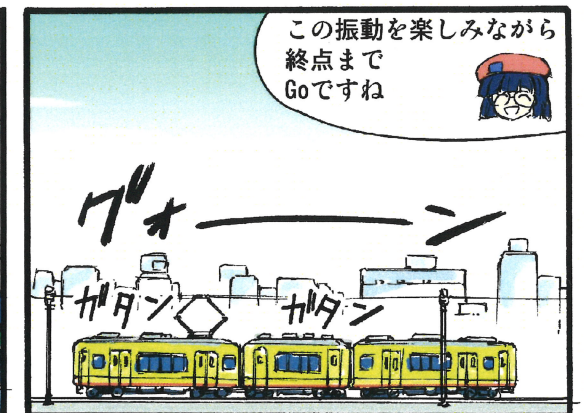
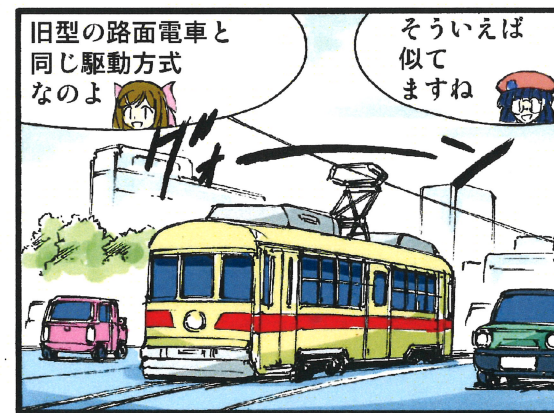
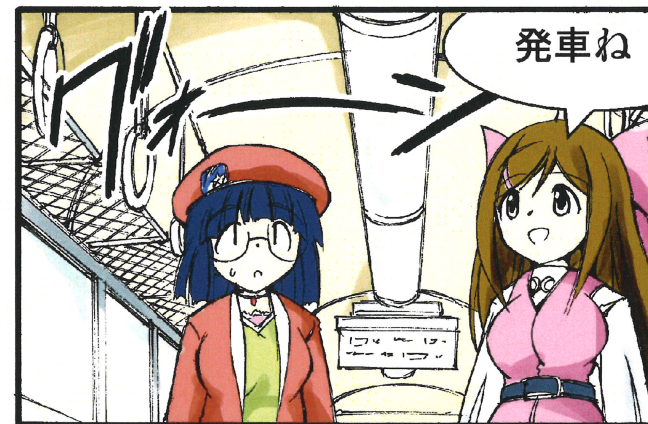
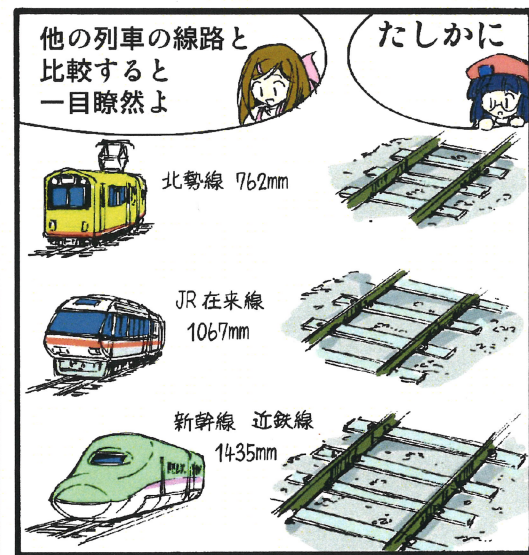
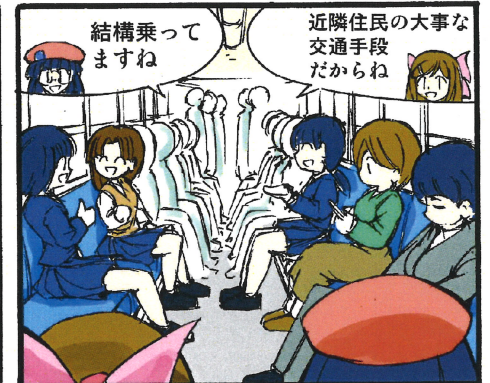
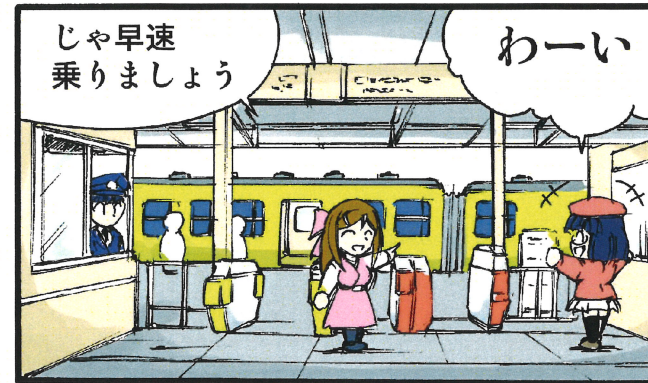
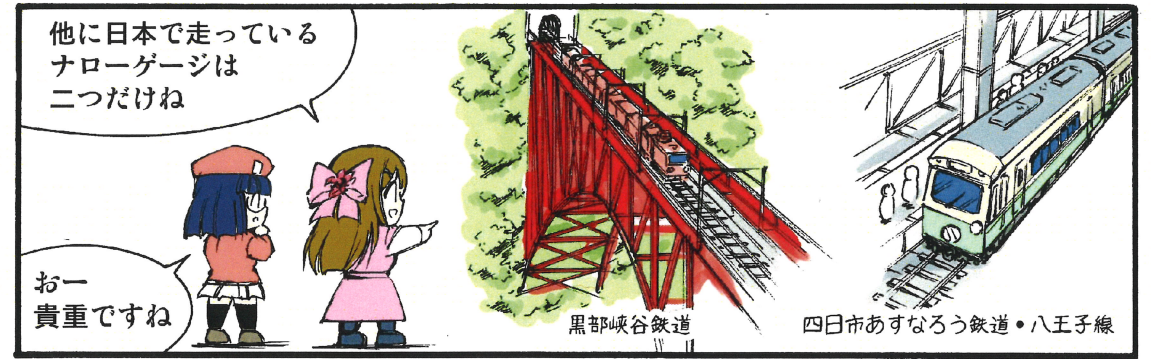


☆三岐鉄道・北勢線に乗ってみよう! (ナローゲージの世界によくぞ!)



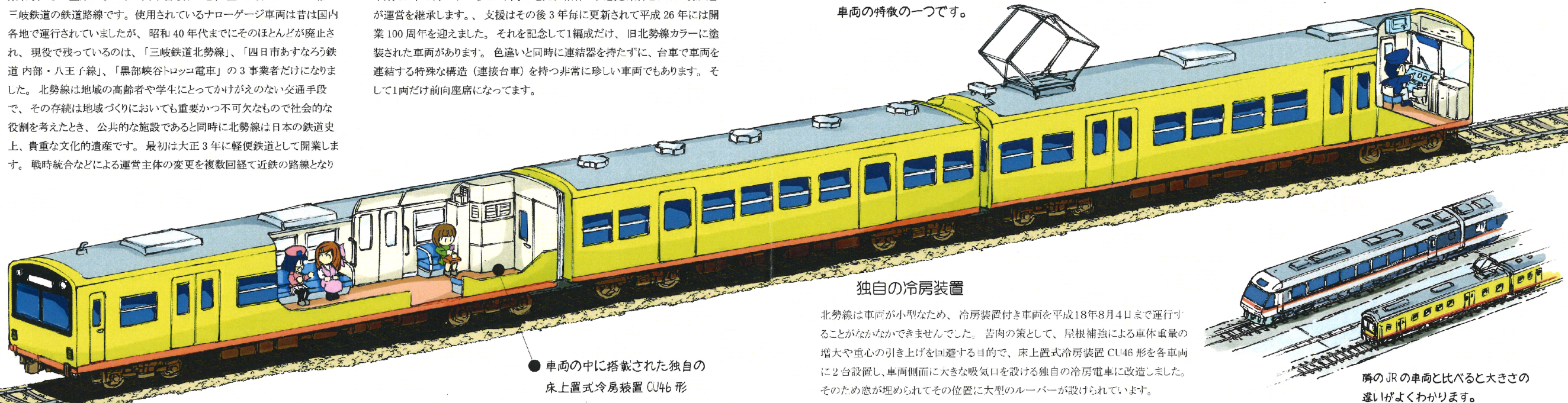
北勢線
西桑名駅



北勢線（ほくせいせん）は、三重県の北勢地方に位置する桑名市の西桑名駅から三重県いなべ市の阿下喜駅までを、全13駅 20.4kmで結ぶ三岐鉄道の鉄道路線です。使用されているナローゲージ車両は昔は国内各地で運行されていましたが、昭和40年代までにそのほとんどが廃止され、現役で残っているのは、「三岐鉄道北勢線」、「四日市あすなろ鉄道 内部・八王子線」、「黒部峡谷トロッコ電車」の3事業者だけになりました。北勢線は地域の高齢者や学生にとってかけがえのない交通手段で、その存続は地域づくりにおいても重要かつ不可欠なもので社会的な役割を考えたとき、公共的な施設であると同時に北勢線は日本の鉄道史上、貴重な文化的遺産です。最初は大正3年に軽便鉄道として開業し、戦時統合などによる運営主体の変更を複数回経て近鉄の路線となり

ましたが、累積赤字により近鉄が廃止の意向を打ち出したため、平成15年4月1日から10年間の地元自治体の支援を条件として三岐鉄道が運営を継承します。支援はその後3年毎に更新されて平成26年には開業100周年を迎えました。それを記念して1編成だけ、旧北勢線カラーに塗装された車両があります。色違いと同時に連結器を持たずに、台車で車両を連結する特殊な構造（連接台車）を持つ非常に珍しい車両でもあります。そして1両だけ前向座席になっています。

車体に対してデカイパンタグラフも車両の特徴の一つです。



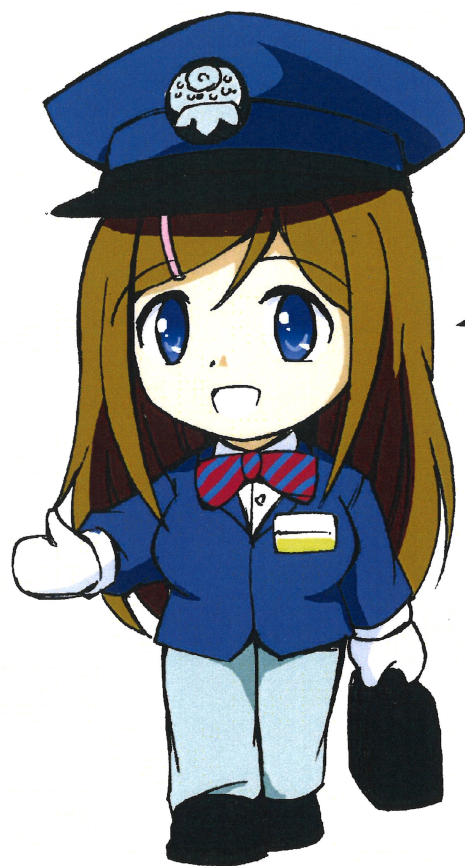
独自の冷房装置

北勢線は車両が小型なため、冷房装置付き車両を平成18年8月4日まで運行することがなかなかできませんでした。苦肉の策として、屋根補強による車体重量の増大や重心の引き上げを回避する目的で、床上置き式冷房装置 CU46 形を各車両に2台設置し、車両側面に大きな吸気口を設ける独自の冷房電車に改造しました。そのため窓が埋められてその位置に大型のルーバーが設けられています。

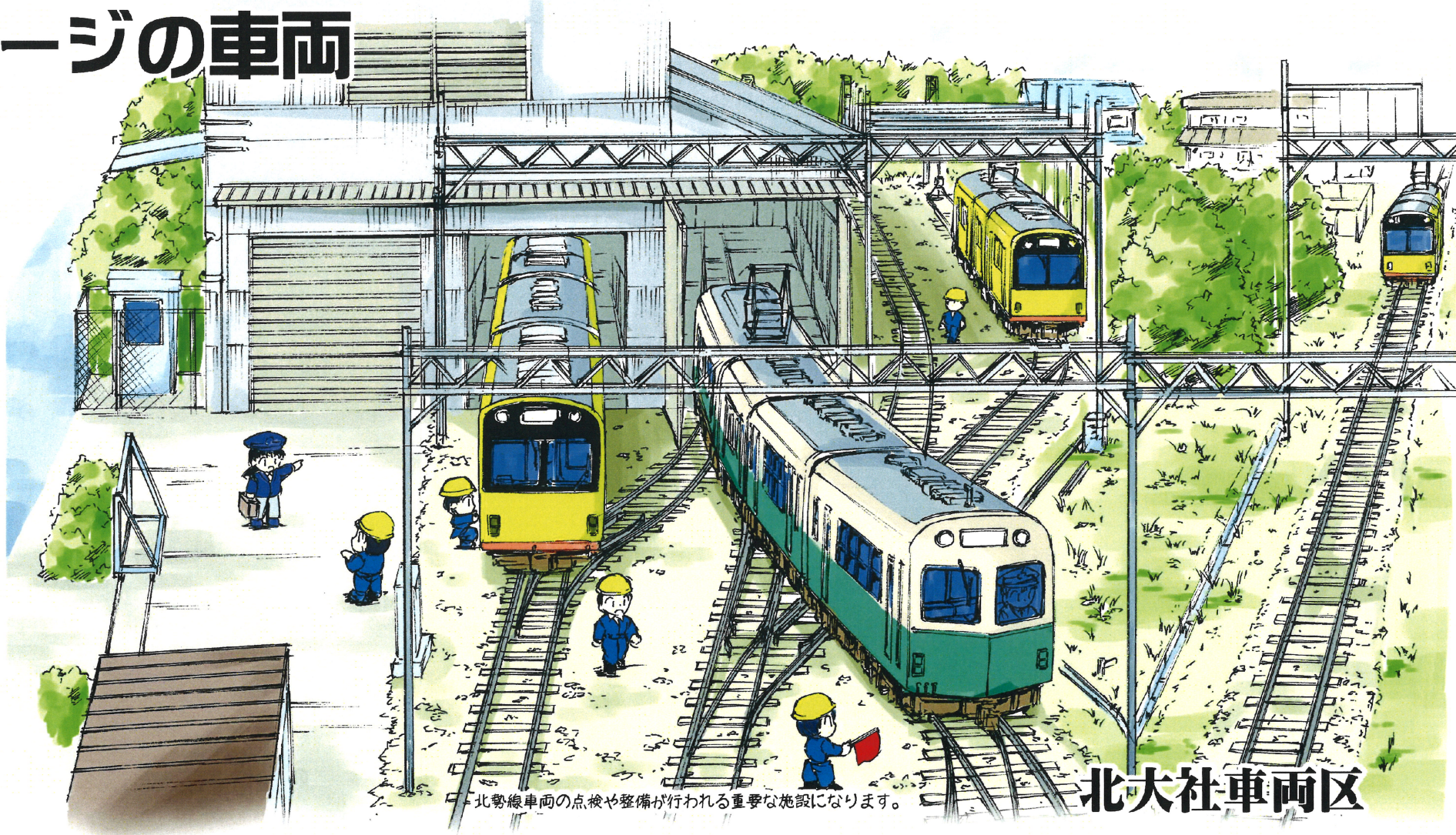
隣のJRの車両と比べると大きさの違いがよくわかります。

● 車両の中に搭載された独自の床上置き式冷房装置 CU46 形

北勢線・ナローゲージの車両

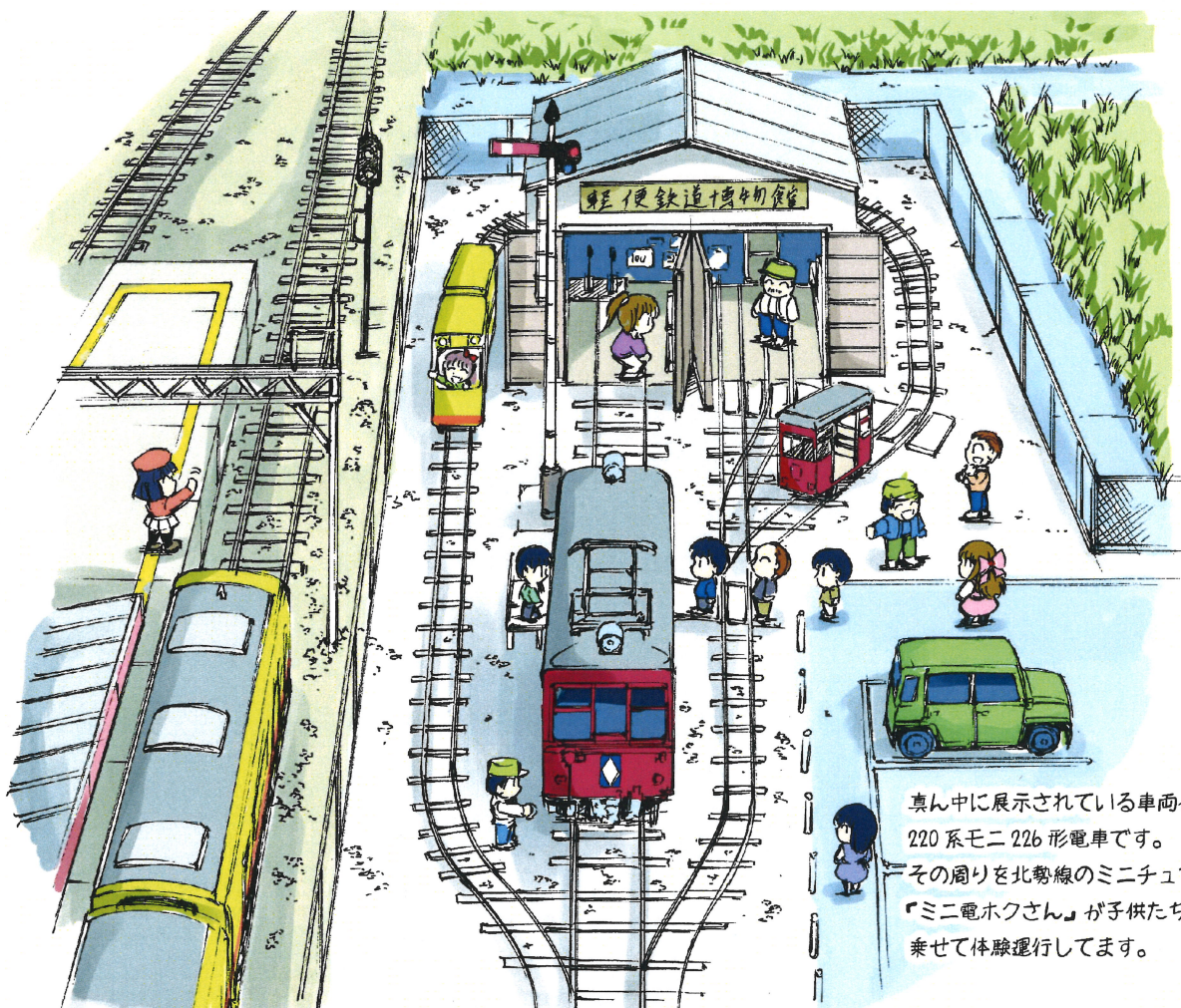


ナローゲージの世界ようこそ



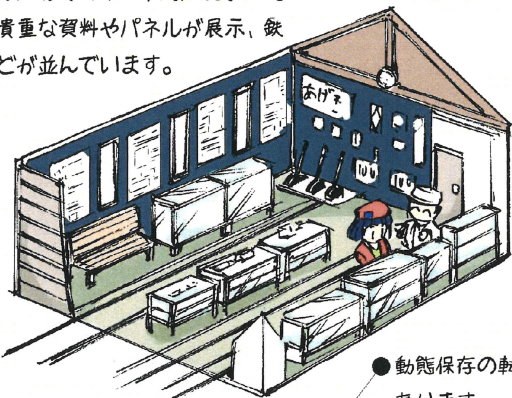
北勢線車両の点検や整備が行われる重要な施設になります。

北大社車両区



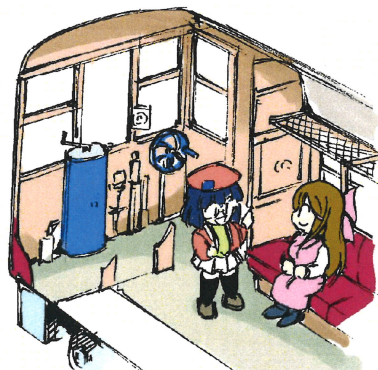
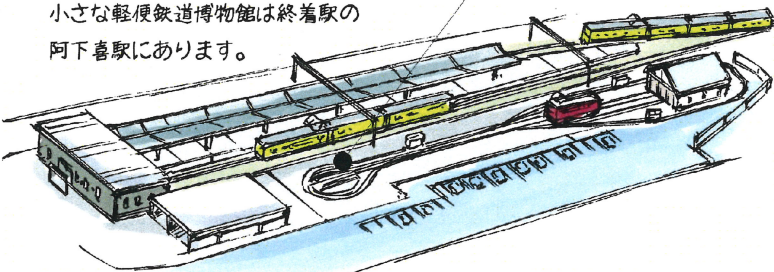
軽便鉄道博物館 (北勢線の小さな博物館)

資料館には北勢線の100年間に及ぶ歴史に関する貴重な資料やパネルが展示、鉄道模型などが並んでいます。



●動態保存の転車台があります。

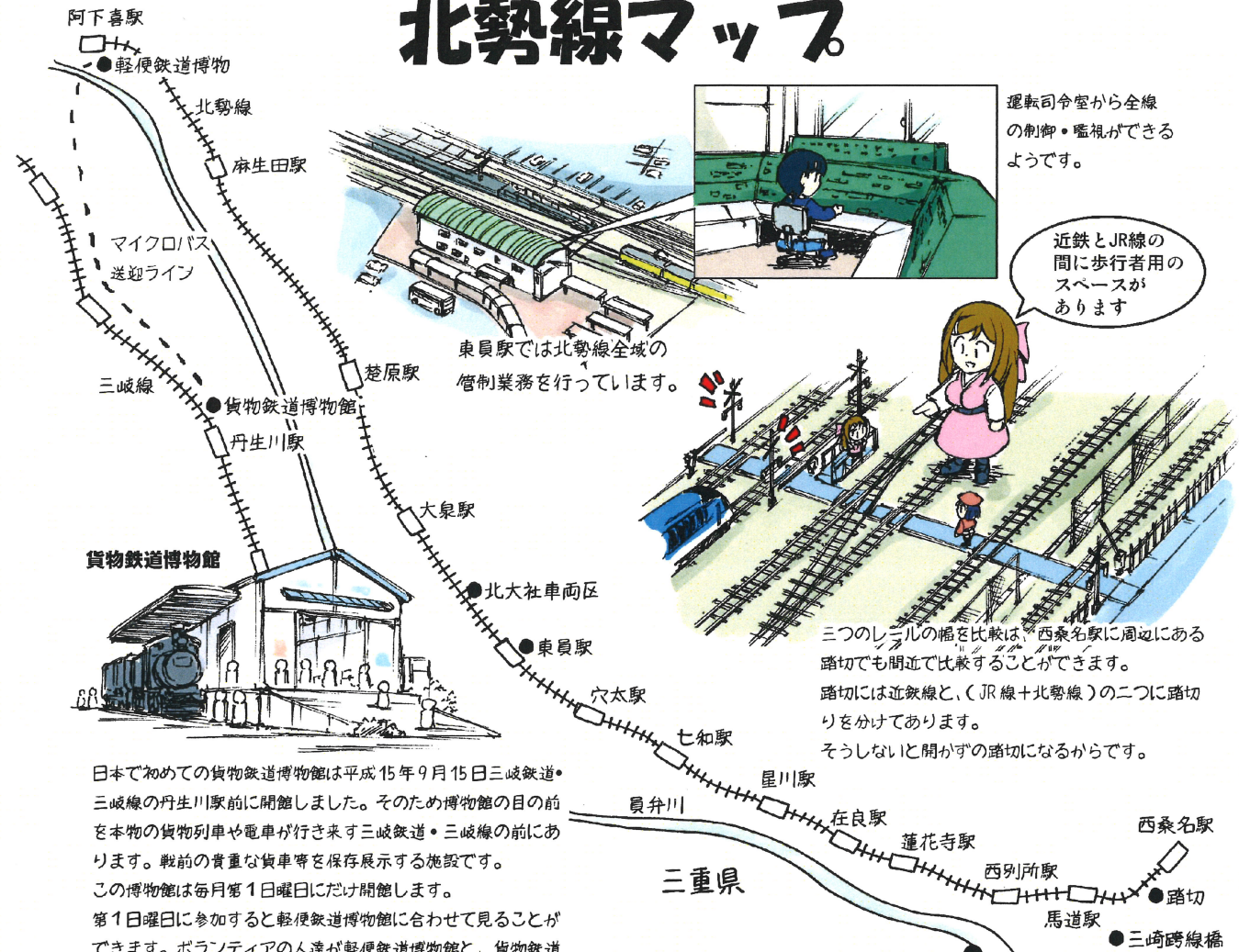
小さな軽便鉄道博物館は終着駅の阿下喜駅にあります。



北勢線で実際に走っていた220系モニ226形電車の中に入ることができます。

三重県いなべ市にある軽便鉄道博物館は個性的な小さな博物館です。軽便(けいべん)鉄道とはナローゲージのことで、実物電車の展示&パネル展示など貴重な資料をそろえた、国内でもめずらしい博物館です。見学・撮影でき入場無料、予約は不要です。毎月第1・3日曜だけ開館します。ボランティアの人達によって運営されています。

北勢線マップ



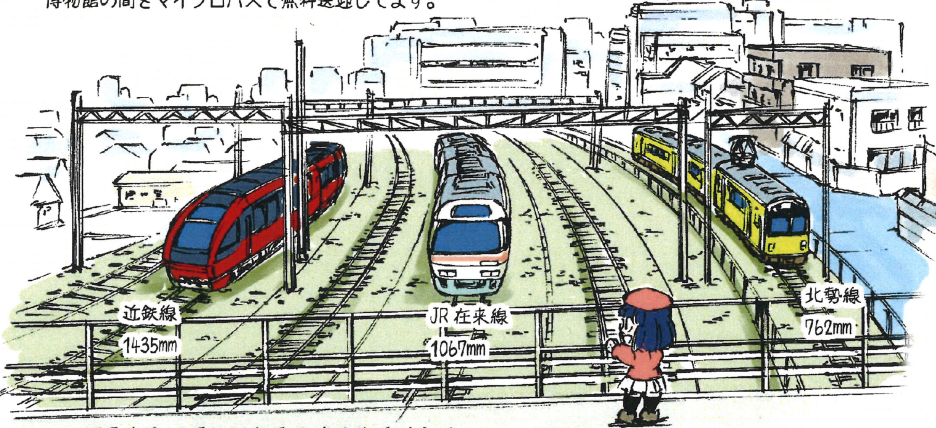
運転司令室から全線の制御・監視ができるようです。

近鉄とJR線の間に歩行者用のスペースがあります

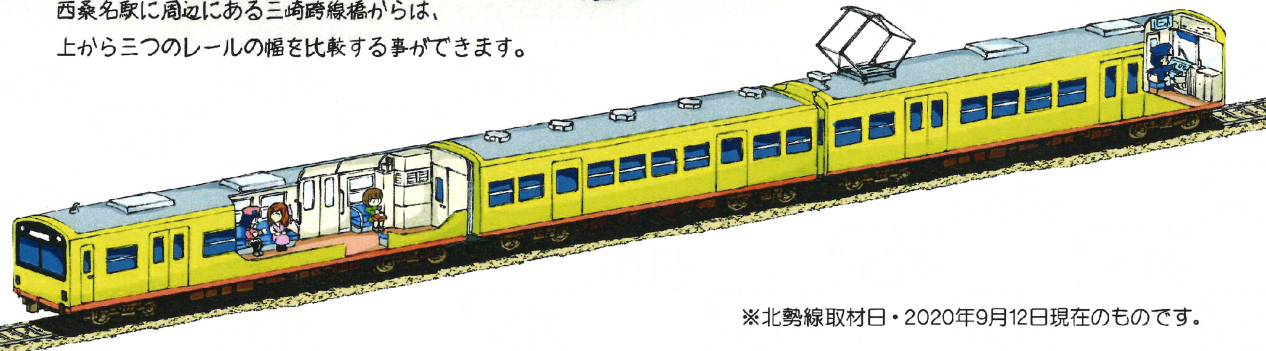
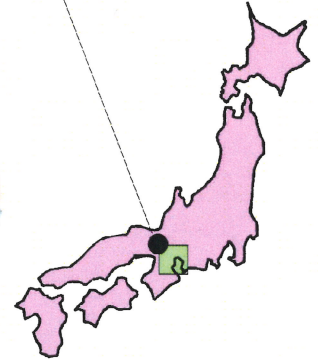
東員駅では北勢線全域の管制業務を行っています。

三つのレールの幅を比較は、西桑名駅に周辺にある踏切でも間近で比較することができます。踏切には近鉄線と、(JR線+北勢線)の二つに踏切りを分けてあります。そうしないと開かずの踏切になるからです。

日本で初めての貨物鉄道博物館は平成15年9月15日三岐鉄道・三岐線の丹生川駅前に開館しました。そのため博物館の目の前を本物の貨物列車や電車が来す三岐鉄道・三岐線の前にあります。戦前の貴重な貨車等を保存展示する施設です。この博物館は毎月第1日曜日にだけ開館します。第1日曜日に参加すると軽便鉄道博物館に合わせて見ることができます。ボランティアの人達が軽便鉄道博物館と、貨物鉄道博物館の間をマイクロバスで無料送迎してまます。



西桑名駅に周辺にある三岐跨線橋からは、上から三つのレールの幅を比較する事ができます。



※北勢線取材日・2020年9月12日現在のものです。